



並木中等進路だより

NO. 1

2024. 4. 26

並木中等教育学校
学習進路部

並木中等学習進路部では、各年次の先生方と連携しながら、生徒の皆さんの学習環境の充実や進路実現のためのお手伝いをしています。職業や勉強についてあるいは大学受験についての情報等を載せた「進路だより」や各種進路情報誌、進路関係の行事、1F進路室、プライトホールや図書室等をぜひ活用してください。

【学習進路部担当の先生】11名

細井ひろみ（学習進路部長） 石井透雄（学習進路副部長/6年次副担任）

渡辺安之（医学コーディネーター/6年次副担任）

小泉美枝（図書館担当/6年次副担任） 大内 碧（図書館担当）

土子 亮（6年次主任） 櫻井友裕（5年次主任） 粉川雄一郎（4年次主任）

皆川拓哉（3年次主任） 下村広輝（2年次主任） 落合淳平（1年次主任）

令和6年度入試（2024年度入試・11回生）の入試結果（右表）

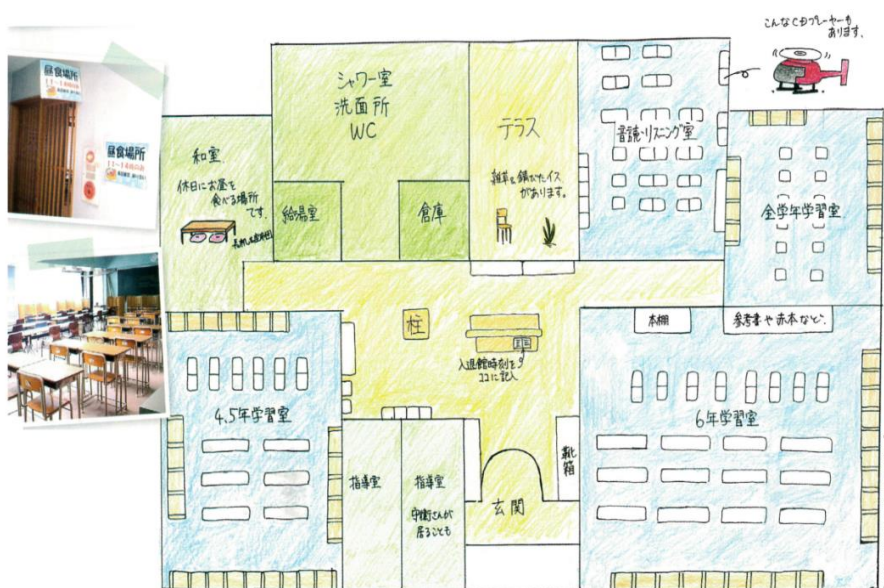
この春に卒業した11回生6年次4月時点での国公立大の希望者は6年次全体の88%、私立大学希望者は8%、未定4%でした。一番多い国公立大学については、合格者は延べ人数で現役生81名、現役合格率57%、希望者だけだと合格率66%という大変高い数字になります。入試結果の詳細は1階進路室前掲示板、および7月発行の進学要覧で確認してください。

プライトホールの利用（4～6年次）

プライトホールは、勉強だけに専念できる環境であり、ライバルでも仲間でもある並木生が勉強している姿を見て、お互いに頑張ることができるかと評判の「並木伝統の自習棟」です。

6年次生には専用学習室が用意されています。4・5年次生専用学習室も設けていますので、気兼ねなく利用してください。

平日の朝は事務室の用務員さんが開けてくれ、夜は日直の先生方が施錠してくれています。休日には日新警備の警備員さんが安全を確保し、皆さんの学習を温かく見守ってくれています。多くの方の利用をお待ちしています。各年次集会でのガイダンスでの「公共の場所」としての注意事項を守って利用しましょう。



平日（授業日）利用時間 7:00～19:50

休日利用時間 9:00～17:00

（休日は警備員さん常駐・入館証として生徒手帳（身分証）を持参してください）

茨城県立並木中等教育学校 令和6年度 大学入試結果

<3/29現在>

1 国公立大学合格者数 ()は過年度卒の内数	人数	2 主な私立大学合格者数 ()は過年度卒の内数	人数
帯広畜産大	1(1)	青山学院大学	14
北海道大	3(1)	学習院大学	11
北教大札幌校	1	慶応義塾大学	20(5)
弘前大	1(1)	芝浦工業大学	8(1)
東北大	5	上智大学	21(3)
秋田大	1	東京理科大学	38(6)
福島大	1	中央大学	18
茨城大	2	日本大学	8(2)
筑波大	25(2)	法政大学	16
宇都宮大	2	明治大学	32(5)
埼玉大	2	立教大学	22(3)
千葉大	6(1)	早稲田大学	32(9)
東京海洋大	2	合計	240(34)
お茶の水女子大	4	その他の大学	120(8)
電気通信大	1	私立大学合計	360(42)
東京大	5(1)		
東京医歯大	1	3 医学科合格者数 (重複掲載)	人数
東京外大	2	弘前大学 医学部医学科	1(1)
東京学芸大	1	秋田大学 医学部医学科	1
東京工業大	3	筑波大学 医学群医学類	6(1)
一橋大	2(1)	福島県立医科大学 医学部医学科	1
横浜国立大	3	国際医療福祉大学 医学部医学科	2(2)
新潟大	1(1)	獨協医科大学 医学部医学科	1
富山大	1	順天堂大学 医学部医学科	1
信州大	1	東京医科大学 医学部医学科	2(1)
静岡大	1	聖マリアンナ医科大学 医学部医学科	1
京都大	3(1)		
九州大	2		
鹿児島大	1		
国際教養大	1		
福島県立医大	1		
茨城県立医療大	1		
東京都立大	2		
横浜市立大	1		
長岡造形大	1		
国公立大学合計	91(10)	医学部・医学科合計	16(5)

並木中等 | 11 回卒業生 | 42 名

受験生としてうまくいった人の特徴とは？

(4月8日始業式学習進路部長講話より)

① 授業に真剣に取り組む

「予習→授業→復習」の黄金サイクルをひたすら大事に繰り返していた生徒は、自分の頭で考えることを面倒くさがらずに、冷静に自己分析できるので、理解できることが増えていきます。

② 基礎固めをしっかりと行う

大学入学共通テストの出題内容の8割は高校1・2年生の学習内容です。並木生で言えば、4年次生までが学ぶあたりまでが共通テストの出題範囲の8割を占めているのです。小テストや課題も、学習内容を定着させるための貴重な機会です。コツコツ勉強した人は間違いなく結果を出しています。

③ 利他的な姿勢で感謝の心をもつ

利他的とは、「他」ほかの人のために、「利」利益となるように行動することです。多くの人の支えがあってはじめて、当たり前だと思っていた勉強も行事もできることを私たちはこの数年で経験しました。

④ 目的意識をもって物事に取り組む

「せっかく勉強するなら面白がってやってみよう」という意識の受験生は、知的好奇心が強いので、学習においても本質的な理解をしていたと感じます。

先日の離任式で2～6年次生は離任される先生方のお話から熱い思いを聴きました。中でも高須先生がおっしゃっていた「no problem!」「growing!」が印象に残りました。

そこで、始業式では「春休みに頑張ったこと」「続けていること」を具体的に隣の人に伝えて、聞いた人が具体的に褒めるというペアワークをしてもらいました。自分のことを具体的にふりかえって言葉に（文字に）すること、できたことや続けられていることも自分の強みとして認識し、また話を聞いた人から具体的にコメントしてもらうことで日々の成長を体感していただけたら幸いです。「自分の強み」は勉強でも部活動でも趣味でも家のことでも何でもかまわないのです。

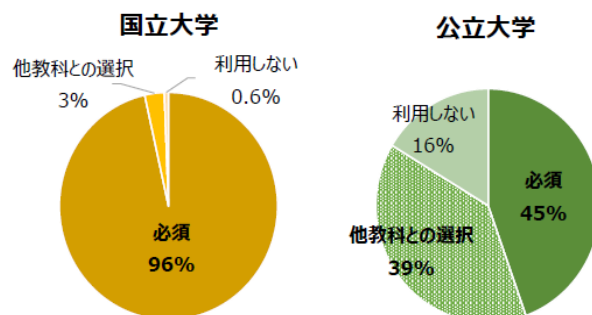
学力も精神力も体力も、一朝一夕では養えません。読むときも書くときも考えるときも、普段の言動が答案に反映されます。勉強、受験の先にあるものを見据える意識を持って、ぜひ「自分の強み」をつくってほしいと思います。そこから生まれる「自信と闘争心、自己肯定感」は、これからの自分自身の財産となることでしょう。

令和7年度入試（現6年次生・12回生）における「情報Ⅰ」

令和7年度の大学入学共通テストから教科「情報」が加わります。国立大学ではほとんどの大学が必須としています。配点比は低い大学（満点に対して10%未満）の大学は6割程度であるものの、大学・学部・学科によって異なるため、志望大学については、必ず事前に確認しておきましょう。

また、「情報」の学びは大学入試で終わりではなく、そもそも大学入学後の学びに深く関連するとして導入されており、情報社会に参画する上で必要なものです。本校生は「情報」を学ぶ場として、前期課程で「技術・家庭」、4・6年次でも設定されていますので、ぜひ興味関心を持って日々の学習に取り組みましょう。自分自身の視野を広めることにもつながります。

「情報Ⅰ」の扱いを公表している大学



並木中等進路指導・キャリア学習＜4～7月＞

		4月	5月	6月	7月
学校行事		始業式・入学式	PTA総会・生徒総会	かえて祭・クラスとしての団結（集団力）個人としてのプレゼン力をつける スポーツデイ	生徒会選挙・保護者面談 4年NZ語学研修
1 年 次	テーマ	小学生からの飛躍～並木中等生になる～ 気持ちよくあいさつができる人間を育てる		学習を習慣する～集中して机に向かうことの習慣化～	
	校内テスト			定期テストⅡ	
	模擬試験	第Ⅰ回学力推移調査			
	進路行事	学習オリエンテーション 図書館オリエンテーション		かえて祭（かえてツーリスト） 地域研究・プレゼン力の基礎 スポーツデイ	
	進路の目標・意識する点	導入期は6年間で最も重要な時期である。並木中等生として主体的な学校生活を送るためにも、まずは学校生活に慣れることを第一とする。並木中等生としての自覚・品位を意識し、学力向上の意欲をもつ。また、部活動と学習の両立を果たすことの重要性を理解する。		学校生活に慣れるとともに、大切な基本的な生活習慣を身につける。学習面では「予習→授業→復習」の黄金サイクルを実行、手帳の利用を習慣化する。また、定期テストの重要性と準備の大切さを理解する機会である。いろいろなことの「最初」だが、うまくいっても失敗しても前向きに取り組むことを心がけたい。	
2 年 次	テーマ	リーダーとしての自覚～上級生としての行動とは～		望ましい職業観の育成を図る～世界の中の日本を意識する～	
	校内テスト		定期テストⅠ	定期テストⅡ	
	模擬試験	第Ⅰ回学力推移調査			
	進路行事		職業分野調べ	かえて祭（キザニアかえて） 職業研究・プレゼン力の基礎 スポーツデイ	職場体験（クエストエデュケーションプログラム活用）
	進路の目標・意識する点	上級生として、下級生の見本となる行動をとること、自我の確立や親からの自立を意識する。キャリア学習としての職業調べを通して、自分の将来設計を本格的に考え出す時期である。中高一貫校である利点として様々な情報や機会を活用して、自身の可能性を伸ばす。		職業観の育成を図るために、企業の方との交流を通して職場体験を実施する。体験の中から、将来の夢を現実的な進路希望に変え、そのための進路学習に深めていく。早急に3年次の大学や学部学科調べに結びつけるのではなく、じっくりと考える時間としたい。	
3 年 次	テーマ	充実期に身につけるべきことを考える ～先取り学習と進路研究～		「自己の進路希望」から「学問分野研究」へ	
	校内テスト		定期テストⅠ	定期テストⅡ	
	模擬試験	全国学習・学力調査 第Ⅰ回学力推移調査			
	進路行事	医学プログラムへの参加の開始（登録した希望者）	学部学科研究	かえて祭（かえてユニバーシティ）・プレゼン力の向上 スポーツデイ	
	進路の目標・意識する点	高校入試が無く、早期から進路研究や先取り学習が出来るメリットを生かすために、これからの2年間で深めるべき学習や進路研究の内容を理解する。国際的感覚や変化する時代への対応力を意識したキャリア学習を作り上げることが必要である。		医学ゼミへの参加や学部・学科調べなど、進路に直結したキャリア学習を実施し、生徒の進路意識を高める工夫をする。決定することが目的ではなく、深く考えることを重視した取り組みを心掛け、主体的に学習をする意欲をもつ。	
		4月	5月	6月	7月
4 年 次	テーマ	後期生の学習のあり方 ～予習→授業→復習の黄金サイクルの確立～		学部・学科調べを大学研究に深める ～進路実現意識の伸長～	
	校内テスト		定期テストⅠ	定期テストⅡ	
	模擬試験			GTEC 河合塾学びみらいパス	進研模試
	進路行事	後期課程への進路ガイダンス（年次集会・授業等）学習と進路に関する意識調査①		学習と進路に関する意識調査② 教育実習生講話	
	進路の目標・意識する点	後期課程に入るこの時期に円滑に入ることができるように、ガイダンス、進路情報誌、学習と進路に関する意識調査等を利用して学習へ取り組む意識、学習時間等を考える。基礎・基本の学力を身につけるためにも、平日2時間・休日3時間の学習時間を確保することが重要である。医学プログラム、医学ゼミ（課題探究）への参加もできる。		学部・学科調べから大学研究に深めるために、大学説明会等を有効に活用する。教育実習生の話を聞くことも選択肢の一つである。また、思考力を高める授業スタイルを積極的に導入し、論理性・表現力を磨く。	
5 年 次	テーマ	文系・理系として高め合う学習集団の形成 ～進路実現へのチーム作り～		学問分野（学部・学科）・大学研究を深める ～オープンキャンパスへつなげる～	
	校内テスト		定期テストⅠ	定期テストⅡ	
	模擬試験			GTEC	進研模試
	進路行事	学習と進路に関する意識調査① 医学コースクラス編成		学習と進路に関する意識調査② 教育実習生講話	
	進路の目標・意識する点	文系理系に分かれた授業、医学コースのクラス編成など、入学以来の環境変化の起こる時期である。この環境変化を利用して、同じ目標を持つ集団の手段化を図り、学習意識と意欲を高める。あと2年というスタートをうまく切りたい。学校で中心となる時期。		大学出前授業を利用して志望大学選びを有効に活用する。志望大学を意識することで、学力の向上の必要性をより認識できる。特に基幹科目である英・数・国の学力向上に努める。模試が少ないこの時期にテストの復習や授業への集中した取り組みで力をつけておく。7月進研模試は詳細な志望校判定が出るため、計画的に準備する。	
6 年 次	テーマ	最後まで文武両道を貫く ～受験勉強と行事・部活を両立～		全てを受験勉強に注力する時期がきた ～「受験は団体戦」を合い言葉に～	
	校内テスト	確認テスト	定期テストⅠ		定期テストⅡ
	模擬試験		駿台模試	進研マーク模試	進研記述模試 河合塾マーク模試（大学別模試受験者以外）
	進路行事	学習と進路に関する意識調査①		学習と進路に関する意識調査②進路講演会（保護者会）	OBOGガイダンス
	進路の目標・意識する点	部活動や学校行事に最後までしっかり取り組むことと受験勉強を行うことは両立すべきものとして、最後まで文武両道を貫く。部活動や行事に取り組んだ力は勉強にもいかされる。今後続く並木中等の校風を作る大切な時期である。「凡事徹底」（あたりまえのことをあたりまえにしっかりと行う）を最大限に意識する。		受験勉強を軌道に乗せることを最大の目標とする。6月マーク模試は基礎力の定着を計り、7ヶ月後の共通テストを占う重要な模試と位置づけて臨む。長時間の自学が可能な受験体力をつけることを意識し、夏の飛躍につなげる。理・社の比重を徐々に増やす。7・8月の学習時間は500時間が目安。学習は量も質も大事だが量から生まれる質もある。プライトホールも活用する。	